

第2節 精神保健福祉

1 精神保健福祉

地域精神保健福祉業務の中心的な機関として、行政関係、医療、社会福祉施設等の諸機関を含めた地域社会と

の緊密な連絡調整の下に、地域住民の精神的健康の保持と福祉の増進を図るため、諸活動を行っている。

(1) 精神障害者の概況

表1 入院届出等状況

平成25年度

区 分	入 院		計
	措 置	医療保護	
症状性を含む器質性精神障害	—	171	171
精神作用物質使用による精神および行動の障害	—	15	15
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	—	110	110
気分（感情）障害	4	82	86
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	—	7	7
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	—	—	—
成人のパーソナリティおよび行動の障害	—	2	2
精神遅滞〔知的障害〕	—	6	6
心理的発達の障害	1	5	6
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 特定不能の精神障害	—	—	—
て ん か ん	—	1	1
そ の 他	—	—	—
不 明	—	—	—
合 計	5	399	404

(2) 精神保健福祉相談・訪問状況

表2 件数の内訳

平成25年度

区 分	電話相談	来所相談	訪問指導	合 計
実件数		143	54	
延件数	1,439	361	200	2,000

表3 来所経由別 (実件数のみ)

平成25年度

区分	本人	家族	病院	福祉事務所	保健所	精神保健センター	市町	職場・学校	民生委員	その他	合計
相談	31	39	6	—	9	1	10	3	—	44	143
訪問	8	4	8	—	11	2	5	—	—	16	54

表4 年齢別件数

平成25年度

年齢		～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
相談	電話	—	71	197	405	426	118	125	68	29	1,439
	来所	—	39 (12)	48 (24)	105 (36)	102 (31)	23 (11)	15 (10)	29 (19)	—	361 (143)
訪問		—	14 (6)	11 (4)	63 (21)	63 (12)	24 (4)	24 (6)	1 (1)	—	200 (54)

() は実件数

表5 内容別件数 (複数選択)

平成25年度

区分		老人精神の問題	社会復帰等の問題	アルコールの問題	薬物の問題	思春期の問題	心の健康作り	その他	合計
相談	電話	74	170	31	4	58	321	781	1,439
	来所	27	50	10	1	43	75	155	361
訪問		6	24	—	1	6	26	137	200

表6 診断別件数

平成25年度

区分	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	合計
	症状性を含む器質性精神障害	お精神作用物質使用による精神障害	お統合失調症、統合失調型障害	気分障害	障害および身体表現性障害	神経症性障害、ストレス関連	に生理的障害および身体的要因	行成人のパーソナリティおよび	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	症小児期および青年期の通常発				
来所相談	8 (6)	7 (4)	109 (34)	95 (28)	31 (7)	9 (2)	2 (1)	3 (3)	15 (10)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	42 (16)	38 (30)	361 (143)
訪問指導	0 (0)	0 (0)	73 (14)	67 (15)	12 (4)	1 (1)	4 (2)	0 (0)	15 (5)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	10 (4)	16 (8)	200 (54)

() は実件数

表7 病類別相談件数の推移

		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		実 件数	延 件数	割合 (%)												
合 計		145	390	100	194	502	100	147	438	100	145	410	100	143	361	100
F0	症状性を含む器質性精神障害	5	8	1.6	13	17	3.9	2	2	0.5	5	6	1.5	6	8	2.2
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	7	14	2.8	9	30	6.8	5	22	5.0	8	21	5.1	4	7	1.9
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	41	109	21.7	40	84	19.2	24	74	16.9	28	116	28.3	34	109	30.2
F3	気分障害	8	25	5.0	33	73	16.7	27	47	10.7	29	83	20.2	28	95	26.3
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	9	29	5.8	10	38	8.7	12	26	5.9	10	38	9.3	7	31	8.6
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1	1	0.2	-	-	-	-	-	-	5	20	4.9	2	9	2.5
F6	成人のパーソナリティおよび行動の障害	4	8	1.6	7	9	2.1	3	9	2.1	2	7	1.7	1	2	0.6
F7	精神遅滞(知的障害)	4	10	2.0	1	1	0.2	2	3	0.7	3	5	1.2	3	3	0.8
F8	心理的発達の障害	2	78	15.5	5	151	34.5	3	137	31.3	7	26	6.3	10	15	4.2
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	1	2	0.4	1	2	0.5	1	2	0.5	-	-	-	-	-	-
G40	てんかん	2	2	0.4	1	1	0.2	1	1	0.2	1	1	0.2	1	1	0.3
そ の 他		1	1	0.2	1	1	0.2	-	-	-	-	-	-	1	1	0.3
保 留		51	91	18.1	42	55	12.6	48	91	20.8	23	45	11.0	16	42	11.6
不 明		9	12	2.4	31	40	9.1	19	24	5.5	24	42	10.2	30	38	10.5

割合(%)は延べ件数における各病類の割合を表す

表8 病類別訪問件数の推移

		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		実 件数	延 件数	割合 (%)												
合 計		51	195	100	75	314	100	92	319	100	94	338	100	54	200	100
F0	症状性を含む器質性精神障害	1	5	1.6	1	3	0.9	4	8	2.5	-	-	-	-	-	-
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	1	0.3	3	7	2.2	5	28	8.8	3	5	1.5	-	-	-
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	27	88	28.0	33	83	26.0	27	105	32.9	26	128	37.9	14	73	36.5
F3	気分障害	4	14	4.5	19	84	26.3	22	66	20.7	25	88	26.0	15	67	33.5
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	1	1	0.3	7	15	4.7	10	20	6.3	12	30	8.9	4	12	6.0
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	-	-	-	-	-	-	1	1	0.3	4	14	4.1	1	1	0.5
F6	成人のパーソナリティおよび行動の障害	-	-	-	1	4	1.3	1	2	0.6	2	3	0.9	2	4	2.0
F7	精神遅滞(知的障害)	1	7	2.2	1	1	0.3	2	11	3.4	-	-	-	-	-	-
F8	心理的発達の障害	2	28	8.9	3	100	31.3	2	29	9.1	5	13	3.8	5	15	7.5
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	-	-	-	1	9	2.8	2	6	1.9	-	-	-	-	-	-
G40	てんかん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1.0
そ の 他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1.4	-	-	-
保 留		13	50	15.9	5	7	2.2	10	32	10.0	10	34	10.0	4	10	5.0
不 明		1	1	0.3	1	1	0.3	6	11	3.4	6	18	5.3	8	16	8.0

割合(%)は延べ件数における各病類の割合を表す

(3) 社会復帰支援教室（オアシス会）

保健所で毎月第2・4火曜日に開催、参加実人数は9名。主なテーマは、話し合い、料理、レクレーションである。性別では男性5名、女性4名であった。プログラムは話し合いで決めている。個別面接は適宜実施した。

表9 実施状況

平成25年度

区分	健康づくり	料理	話し合い	レクレーション	茶道	計
開催回数	3	4	11	4	1	23
参加延人数	19	26	57	25	7	134

(4) 精神障害者社会適応訓練事業

精神保健福祉法第50条に基づいた事業であったが、平成23年度に同条が削除されたことに伴い、同年4月に県の実施要綱が見直され、平成24年度から県の単独事業として継続されている。

表10 社会適応訓練事業実施状況

平成25年度

協力事業所数	実訓練者数	年間延訓練者数 (A)	年間訓練延日数	年間訓練延時間数 (B)	1人当たりの月平均訓練時間数 (B/A)
2 か所	1 名	1 名	1 日	1 時間	1 時間

(B) は1月単位で1時間未満の端数を切上げて合計している

(5) 精神障害者地域生活支援事業（退院促進事業）

平成19年度より開始された事業である。精神科病院に入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば退院可能な者に対し、円滑な地域移行に向けての支援を行い、社会復帰の促進を図ることを目的としている。平成24年度から個別給付として市町が実施主体となり行っている。管内精神科病床を持つ医療機関等に当事業を周知するとともに、関係機関で事業の趣旨の共通理解に努めた。

表11 精神障害者地域生活支援事業実施状況

平成25年度

開催日	場所	内容	参加者
H25年 12月12日	当所	精神障害者地域生活支援モデル事業 支援者連絡会議	11名 (精神科医療機関、相談支援事業所、 市町、保育園、当所)

(6) 研修会・検討会等

表12 研修会・連絡会開催状況

平成25年度

開催日	場 所	内 容	参 加 者
H25年 11月1日 H26年 3月13日	当 所	自殺防止対策地域連絡会	82人(医療機関、警察署、教育関係、社協、福祉関係、各種団体、民生委員、ボランティア、国関係機関、消防、市町関係課、当所)
同 上	同 上	自殺防止対策研修会	85人(医療機関、警察署、教育関係、社協、福祉関係、各種団体、民生委員、ボランティア、国関係機関、消防、市町関係課、当所)

表13 関係団体への協力・支援状況

平成25年度

関 係 団 体	内 容	回 数	参 加 延人数
メンタルヘルスボランティア	総会、役員会、例会、講座	6	83人
精神保健福祉担当者サロン会	各市町精神保健担当者との情報共有	4	24人
精神障害者家族会	総会、研修会、例会、活動支援	12	12人
A A 及び断酒会	活動支援及び普及啓発に協力	3	12人
管 内 警 察 署	通報時連携及びケース連絡等	13	28人
石 川 県 薬 剤 師 会 食 品 衛 生 責 任 者 他	ゲートキーパー講習	11	1010人

表14-1 事例検討会開催・参加状況 (母親のメンタルヘルス・医療観察法関係)

平成25年度

主 催	場 所	内 容	回 数	参 加 延人数
当 所	小松市 すこやかセンター	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	164人
当 所	能美市 健康福祉 センター「サンテ」	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	113人
当 所	川北町 保健センター	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	11	30人
当 所	加賀市民会館	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	143人
金沢保護観察所	県内医療機関	医療観察法関係ケア会議	3	34人

開催日	主催・場所	内 容	参 加 者
H25年 4月10日	精神科病院	「精神疾患を持つ家族への対応について」	6人 (本人、家族、病院職員、児童相談所職員、当所職員)
4月25日	精神科病院 小松市役所	「医療保護入院者の退院後の支援体制について」	11人 (本人、家族、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
5月8日	相談支援事業所 就労支援事業所	「統合失調症患者の就労支援について」	8人 (本人、家族、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
5月9日	相談支援事業所 小松市教育センター	「広汎性発達障害の患者の退院後の支援について」	6人 (家族、相談支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
6月21日	精神科病院	「任意入院者の退院後の生活支援について」	8人 (本人、家族、病院職員、小松市職員、児童相談所職員、当所職員)
6月28日	相談支援事業所 就労支援事業所	「統合失調症患者の就労支援について」	5人 (本人、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、当所職員)
7月9日	相談支援事業所 小松市教育センター	「広汎性発達障害の患者の退院後の支援について」	7人 (家族、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、当所職員)
7月12日	小松市	「高齢者虐待事例への対応について」	9人 (親族、病院職員、小松市職員、当所職員)
7月23日	当所	「精神疾患を持つ家族への対応について」	10人 (医師、病院職員、小松市職員、教員、児童相談所職員、当所職員)
7月24日	相談支援事業所	「統合失調症患者の就労支援について」	5人 (本人、相談支援事業所職員、就労支援事業所、当所職員)
9月3日	加賀市	「高齢者虐待事例への対応について」	7人 (家族、加賀市職員、大聖寺警察署職員、相談支援事業所職員、当所職員)
9月3日	精神科病院	「措置入院者の退院後の支援について」	5人 (本人、医師、病院職員、当所職員)

H25年 12月4日	加賀市	「精神疾患の疑いのある事例の支援について」	6人 (加賀市職員、当所職員)
12月25日	相談支援事業所 就労支援事業所	「統合失調症患者の就労支援について」	6人 (本人、家族、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
H26年 1月8日	相談支援事業所 小松市教育センター	「広汎性発達障害の患者の生活支援について」	6人 (家族、相談支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
1月15日	小松市	「精神疾患の疑いのある事例の支援について」	8人 (小松市職員、当所職員)
2月12日	相談支援事業所 就労支援事業所	「統合失調症患者の就労支援について」	6人 (本人、家族、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員、小松市職員、当所職員)
3月17日	能美市	「精神疾患の疑いのある事例の支援について」	7人 (能美市職員、当所職員)
3月18日	児童相談所 精神科病院	「発達障害の患者の生活支援について」	16人 (医師、病院職員、白山市職員、飲み市職員、相談支援事業所職員、保健所職員、児童相談所職員、当所職員)
3月28日	相談支援事業所 小松市教育センター	「広汎性発達障害の患者の生活支援について」	6人 (家族、相談支援事業所職員、小松市職員、当所職員)